

平塚市都市マスタープラン（第2次）別冊の策定にあたって



現在、平塚市では、「豊かな自然にまつまれて 人とまちが織りなす 湘南のサステイナブルシティ ひらつか」を将来都市像として、平成20年10月に策定した平塚市都市マスタープラン（第2次）に基づき、まちづくりを進めています。

このプランが動き出して9年が経過し、本市を取り巻く状況にも様々な変化が現れてきました。少子高齢化・人口減少のさらなる進展といった社会全体が抱える課題のほか、増え続ける空家等の対策や公共施設の適切な管理運営など、市として解決すべき課題も浮き彫りになりました。さらに、東日本大震災や熊本地震などの震災や集中豪雨による水害などから、大規模な自然災害への備えの必要性も高まってきました。

そこで、このたび、現行のプランを補完する「平塚市都市マスタープラン（第2次）別冊」を策定しました。これまでのまちづくりの進捗を踏まえるとともに、社会情勢の変化と新たな課題に対応し、「都市」と「地域」の魅力向上に向けたまちづくりの姿を示しています。現行のプランで掲げたまちづくりの目標や将来都市像の実現に向け、新たな方針を示すことで、今後のまちづくりを効果的に進め、平塚をもっとより良い場所にいたします。

この新たな方針をもとに、市民・事業者・行政が相互に連携して、本市の地域資源を生かした魅力あるまちづくりを進め、人や企業から「選ばれるまち・住み続けるまち」の実現が図られるよう努めてまいりますので、これからも多くの皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、策定にあたり、熱心に議論してくださった都市計画審議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に、心からお礼申し上げます。

平成29年（2017年）10月

平塚市長 落合克宏